

# 学校評価

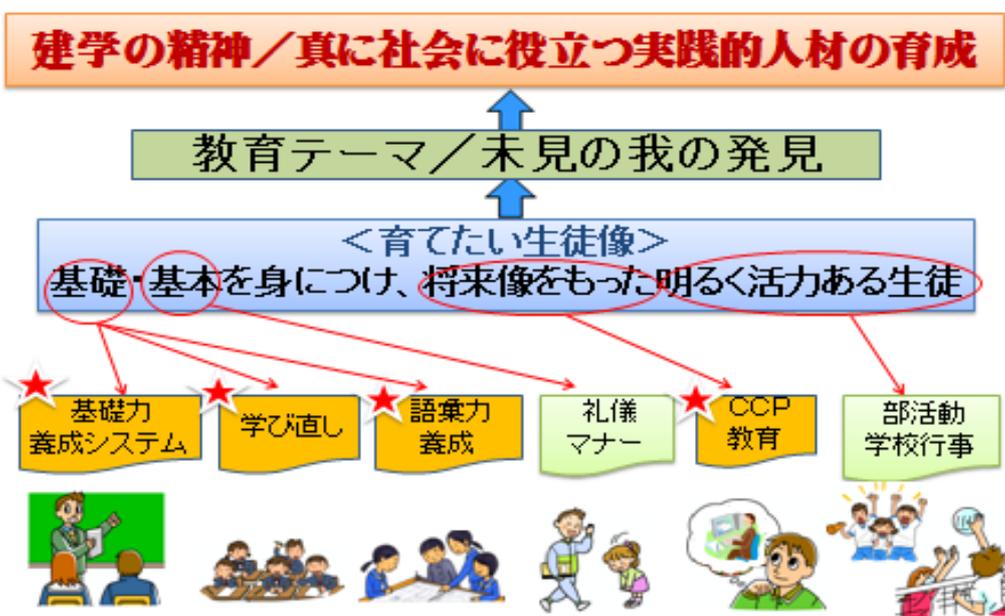
<報告>

令和5年度 総括

松江西高等学校

# 目次

目次	1
令和5年度<総括>	2~17
学校評価（重点課題・主眼を置いた取組・継続課題）	4~7
分掌部評価（年間目標の点検・評価）	8~10
担任評価（担任振返シートによる点検・評価）	11~17



図の★印は本校が特に力を入れている取り組みです

# 令和5年度 松江西高等学校

## 自己点検・自己評価（PDCA）

### <目標・計画>

- ・ 学校評価（重点課題・徹底したい取り組み等）
- ・ 分掌部評価（分掌部評価表）
- ・ 学級評価（担任振返シート）

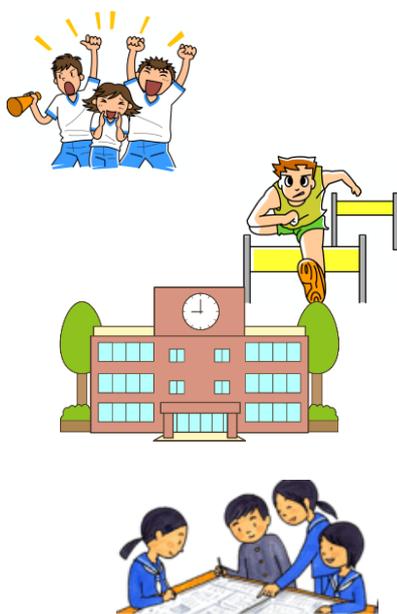
# 令和5年度 学校方針

## 松江西高等学校 重点目標

### 重点課題

(令和6年度実施に向けて)

目の前にいる生徒に即した魅力あるカリキュラム・学科・コースの見直し



### 徹底したい取り組み

#### ①育てたい生徒像／基礎・基本を身につけ、将来像をもった明るく活力ある生徒

##### ■学習面（私は分かる）

- ・高校生のための学びの基礎診断
- ・基礎力養成、学び直し、語彙力養成（Literas 論理言語力検定）
- ・新しい授業のカタチ（2022 新指導要領実施準備）  
アクティブラーニング、反転授業等の実践とその評価  
ネット学習動画（スタディーサプリ等の活用）

##### ■生活面（私は守る）

- ・慈にして厳なる指導
- ・いじめ防止対策（未然防止・早期発見とその対応）
- ・基本的な生活習慣（時間・挨拶・マナー・規則順守）

##### ■CCP教育（私は決める）

- ・総合探求学習・LHRを活用して2年までに進路の方向性を決定する
- ・将来像を持たせることで、日々の学習のモチベーション向上につなげる

##### ■部活動、行事の重要性（私は参加する）

- ・部活動、行事を通して明るさと活力を身につける

#### ②その他

- ・地方創生への取り組み／外部（行政・企業・大学・専門学校など）との連携強化
- ・支援生徒への取り組み／特別支援、不登校支援・外国籍生徒支援
- ・学校評価を通して学校運営の改善に努める

## 私学の原理・原則

①経営基盤（生徒数の確保と維持）の確立の上に理想があり、教育がある！

②生徒を大切にし、面倒見のいい私学は生き残る！

③魅力、特色が形骸化し、工夫のない私学は生き残れない！



# 令和5年度 松江西高等学校 学校評価

## ＜重要課題＞

PLAN		DO	CHECK	ACTION
重点目標	重点項目	具体的な取り組み	達成度判定基準	分析（成果と課題）及び改善策
3つの生徒像	～どんな生徒を求めているか？～ ①これまでの義務教育を振り返り、これからの高校生活を充実させるための目標を持っている生徒 ②本校の教育テーマである「未見の私の発見」に向けて努力する生徒	①、②については入試説明会、中学校訪問等で伝える。特に①については専願生の面接項目に入れる。	A B ③ D	次年度学校方針の変更に伴うトラブルの中、教員説明会(10月)、生徒・保護者説明会(11月)が実施された。私学審議会の決定が11月にずれ込んだため、多方面に影響が出た。(校長)
	～どんな生徒を育てたいか？～ ・育てたい生徒像である「基礎・基本を見につけ、将来像を持った明るく活力ある生徒」を育てる	基礎学力、基本的な生活習慣、キャリア教育、部活動・学校行事を通して、社会人としての基盤をつくる。また学期ごとにアンケートを実施し、定着度を確認する。	A ③ C D	将来的な社会生活の上で必要な要素として、育てたい生徒像の実践があると思っている。一人ひとりの生徒がより自分自身で考え、主体的に取り組むように意識付けることで、自己実現につなげたい。(校長)
	～どんな社会人になってほしいか？～ ・ローカルマインドを持った地域社会に貢献できる生徒 (ローカルマインドとは、地域を知り、地域を愛する心のこと)	約七割の生徒が地元に残る現状を踏まえ、地域と連携、協力して地方創生に協働する人材を育てる。	A ③ C D	アフターコロナとなり、進路ガイダンス等コロナ禍前の形で実施することができた。次年度以降、より関係各所と連携を図り、活動の機会や内容共に幅を広げていきたい。(校長)
課題	魅力あるカリキュラム・学科・コースの見直し	目の前にいる生徒に即した魅力あるカリキュラム・学科・コースを構築する。	A B ③ D	次年度入学生の教育課程の変更について、未定の部分が多い。情報を共有し、進めていければと思う。(校長)

## ＜徹底したい取り組み＞

PLAN		DO	CHECK	ACTION	
重点目標	重点項目	具体的な取り組み	達成度判定基準	分析（成果と課題）及び改善策	
育てたい生徒像／基礎・基本を身につけ、将来像をもった明るく活力ある生徒	基礎学力養成	高校生のための「学びの基礎診断」	年間1回(9月)実施することになった。本校にとって大きな指標にしたい。	A B C ④	今年度は学びの基礎診断の実施ができなかった。実施の目的をもう一度確認した方がよい。(和田)
		基礎力養成対策	A～D層のうちD層の減少を目標とする	A ③ C D	継続した減少ではなかったが、D3層の減少が見られた回があり、基礎力が身に付いていると感じられた。(和田)
		学び直し	ベネッセ教材を活用し中学校時の積み残しを学び直し、高校教育課程へつなげる。	A ③ C D	昨年度と同様に1年生1学期の総合的な探究の時間も活用して学び直しを実施できた。(和田)
		語彙力養成	本校の生徒に合った題材を準備し、楽しく語彙力が身に付くように工夫し、Literas 論理言語力検定の合格者を増やす。	A ③ C D	昨年度と比較し、3級合格者は大幅減(59→24)した一方、2級合格者は微増(13→18)であった。過去問に取り組むタイミングや朝学習を利用してリスニング問題の練習にも取り組めた。(広瀬)
	新しい授業のかたち	アクティブラーニング等による「生徒参加型授業」の取り組み	「知識・技能」の習得からその活用へ重点をシフトし、生徒を主体とする授業の形成に努める。	A B C ④	やはり講義形式の授業が大多数を占めているが、まず基礎知識を身に付けさせるためにはそれが必要であると考え、生徒の学習意欲を高めさせるためにワンポイントでアクティブラーニングなどの変化を付けるとよい。(和田)

	基礎学力基盤養成	ベネッセのクラッシー学習サポート（動画学習）の活用による基礎学力の定着に努める。	A B ③ D	1・2学期の基礎力テスト前には配信課題として活用できた。しかし、昨年度から進展はしていない。（和田）
	進学するための学力養成	リクルートのスタディーサプリの活用による実力養成に努める。	A B ③ D	課題の配信や確認が担任任せになってしまった。配信の内容について話し合う機会を持てなかった。（広瀬）
	就職するための学力養成	SPIの活用による就職試験に合格できる学力の養成に努める。	A ④ C D	2年次から年間3～7回程度のテストを行い学力向上につなげた（加藤）
検定その他	朝読書の推進	8:30～8:40 朝読書（月、金）を実施する。	A B C ④	具体的な取り組みは実施できなかった。（須谷）
	校内漢字テスト	年6回の漢字テスト、3回の漢字検定を実施する。	A B ③ D	全体的に平均点が下がってきており、校内漢字テストへの取り組みが徐々に形骸化している。次年度は工夫をして意欲的に取り組むことができるようにしたい。（小澤）
	各種検定資格取得	<総合ビジネス科> 簿記、情報、ワープロ、電卓、介護職員初任者研修（旧ホームヘルパー2級）等の資格取得に努める。	A ④ C D	全商簿記 3級19名、2級3名、1級0名 全商ビジネス計算 3級51名、2級27名、1級18名 全商ビジネス文書 3級149名、2級16名、1級4名 全商情報処理 3級43名、2級7名、1級0名 全商商業経済 3級13名、2級5名、1級0名 介護職員初任者研修6名 (加納)
		<普通科> 漢検・英検・論理言語力検定等の資格取得に努める。	A ④ C D	全商英検 合格者 3級2名 実用英検 合格者 2級3名 準2級3名 3級5名 漢字検定 (小澤) 準2級 5名 3級 20名 5級 1名 10級 2名 Literas 論理言語力検定 2級 18名 3級 24名 (広瀬) 数学検定 合格者 4級1名 3級1次1名(和田)
基本的生活習慣と生徒指導	社会性の育成	社会規範を示し、将来社会人として自立するための基本を身につけさせる。校内外パトロールを通して本校生徒の実態を把握し、正しい方向に導く。	A B C ④	徹底できなかった。その理由としてはなぜ社会には規範（ルール）が存在するのかを十分に説明していなかったためと思われる。（杉田）
	服装・頭髪	月1回全校一斉検査を実施し、改善まで徹底指導する。	A B C ④	全体としてルーズな服装・頭髪をしている生徒が増加した。また同じ生徒が繰り返し違反をおこなっている傾向が強まった。（杉田）
	挨拶	全職員による日頃の地道な指導が大切。	A B C ④	生徒の側から挨拶をするケースは少ないが、教職員がすれば返してくれる生徒がほとんどであった。（杉田）
	マナー	根負けしない教職員の指導が大切。	A B ③ D	相手目線で物事を考えることができていない。（杉田）
	いじめ問題	いじめは未然防止に尽きる。日頃からの全職員による観察が肝要である。いじめは絶対許さない姿勢を日々示す。	A B ③ D	重大ないじめ事案は起こっていないが、集団内で様々なトラブルは起こっていた。これも相手の立場にたって物事を考えれば善悪の判断はできる。我々が「伝えた」と思っているが「伝わっていない」ことが問題であると感じた。（杉田）

将来像	探究・キャリア教育	探究活動に取り組むことで、自分自身をより理解し、学びに向かう力を育む。	A ⑥ C D	<1年> 概ね多数の生徒が目標を持ち、「地域の活性化」の課題に取り組んだ。(日野)
			A ⑥ C D	<2年> 成果発表まで活動できたが担任負担の増大は協力して改善したい(和田)
	進路ガイダンス	進学に関するガイダンス	④ A B C D	業者と連携して、進路に合わせた内容で複数回実施が出来た。(加藤)
		就職に関するガイダンス	④ A B C D	例年と同じように県・市と連携したガイダンスが出来た(加藤)
職場見学、職場体験等の活用による離職対策	安易な職業選択による離職率は増加の傾向にある。職場見学、職場実習の機会を増やすなど、離職率減少対策に努める。	A ⑥ C D	夏季休暇の間に、職場見学を1人2社以上の目標で行った。その結果、他社との比較を感じることで、就業意欲や目標を作り、早期離職へ繋げたい。(加藤)	
明るく活力	行事を大切にす	師弟が結束して行事に取り組み、行事を通してクラス、学年の帰属意識を高める。	④ A B C D	悪天候による学園祭の中止ではなく延期にするなど、今年度の学校行事については、可能な限り実施する方向で取り組んだ。(坂田教頭)
	部活動に入る／入部率向上	入部率70%をめざす。	A B ④ D	今年度も入部率50%以下であり、入部率70%目標値は、本校生徒の実態を考えるとかなり難しいものである。(坂田教頭)
	特待生の積極的な勧誘で学校活性化に努める。	部活動をけん引する特待生の確保に専念する。(目標30名)	A ⑥ C D	令和6年度入学生について、特待生は昨年度を大きく下回る見込みである。学校方針の転換もあり、特待生の目標設定も来年度以降、検討事項と考える。(坂田教頭)

### <継続して取り組む課題>

	PLAN	DO	CHECK	ACTION
重点目標	重点項目	具体的な取り組み	達成度判定基準	分析(成果と課題)及び改善策
①生徒数の確保	入学生定員176名確保	本校の取り組み・魅力を積極的にPR。中学校訪問回数を増やす。	A B C ④	新たな学校方針に基づく、新学科設立、新カリキュラムの編成について、理事長自ら中学校関係者へ説明をし、理解を求めた。(客野教頭)
	志願者数700名	多様化する生徒に対応した本校の受験型と特待制度の浸透に努める。	A B C ④	入試制度の変更について、改革初年度ということもあり、中学校からも様々な意見が寄せられた。(客野教頭)
	マスコミ・メディアの活用	本校の行事等をマスコミに積極的に報道依頼する。	A B C ④	積極的な依頼はできなかった。(客野教頭)。
	効果的なイベント	本校に興味・関心が向くようなイベントを工夫する。	A B ④ D	授業体験は例年通り実施したが、部活動体験は諸事情により部活単位での実施とした。(客野教頭)
	入試の改善	改善すべき点、新しく導入すべき点等を検討する。	A B C ④	入試制度変更初年度で、十分な理解を得るまでには至らなかった。(客野教頭)
	塾対応	塾への訪問回数を増やし、本校のPRに努める。	A B C ④	積極的なPRはできていない。(客野教頭)

②生徒数の維持	退学10名、転出10名、計20名までに留める		日頃の出欠状況に注視し、安易な退学、転出の予防に努める。	A ② C D	退学者12名、転出者8名と昨年より9名の減少に転じた。様々な状況の生徒がおり、入学の経緯もある為、年ごとに一定数は見込むとしても、一人でも少なくなるように、次年度は努めたい。(校長)
	支援生徒への対応	不登校の問題	中学校、支援組織等からの情報を収集し、保護者との協力のもと不登校の改善に努める。	A ② C D	今年度も人員減のため学習室の活用、個別授業の実施ができなかった。今年度はスクールカウンセラー(臨床心理士)を配置し、対応することができた。しかし、不登校の改善には至らなかった。(小田原)
特別支援生徒		実態をまず把握し、中学校、支援団体等からの助言を得ながら、連携して合理的配慮に努める。	A ② C D	中学校と連携し、生徒の実態把握のため情報共有することができた。また、個別の対応として主治医から助言を得ながら担任・授業担当と連携し、本校ができる範囲で合理的配慮を実施することができた。(小田原)	
外国籍生徒学習支援		同時通訳機や日本語指導員等を活用し、言葉の壁を軽減したい。学習評価も合理的配慮が必要な場合はその都度検討する。	A B ③ D	学校説明会は通訳不要であった。三者面談での通訳の派遣依頼は例年通り。今年度は2名の外国籍生徒が卒業を迎えることができた。(広瀬)	
合理的配慮		保護者、担任等からの申し出を受け、その都度、検討し、生徒の困り感を軽減する。	A ② C D	ルビうち、提出物確認、別室受験等の配慮ができるものについてはすべて対応している。ただ、生徒・保護者の要求は多種多様であり、完全に生徒の困り感を払拭はできていない。(坂田教頭)	
③その他	地方創生	ふるさと教育の実践	ふるさとを知り、ふるさとを愛する人材の育成に努める。	A B ③ D	地元企業のガイダンス等概ね開催できた。今後は産官学での連携がより図ることができればと思う。(校長)
		地域に貢献する人材の育成	地域に根差し、地域を支える人材の育成に努める。	① B C D	今年度は就職希望者全員が県内に就職することになった。ふるさと教育の強化と併せて機会を提供し、人材育成に努めたい。(校長)
		自治会等の連携活動	自治会との連携を密にし、お互いに助け合う関係を築きたい。	A B C ④	コロナ禍以降、学園祭がやっと通常開催できた。グラウンドの貸し出しや行事計画など、以前までとは言わないまでも実施できればと思う。(校長)
学校評価の推進と学校運営の改善	学校評価	学校の年間重点目標と戦略をPDCAを通して、全体評価する。	A ② C D	生徒がより良い教育を享受できるよう、その教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善、発展を目指したい。(客野教頭)	
	分掌部評価表	各学期末、年度末に自己点検・自己評価を実施する。	A ② C D	より効率的な学校運営と確実な業務遂行につなげたい。(客野教頭)	
	担任振り返りシート	各学期末、年度末に自己点検・自己評価を実施する。	A ② C D	1年間のクラスの生徒との関わりで、今後も指導を継続させたい内容などを明らかにし、次の学年につなげたい。(客野教頭)	
	クラス努力目標	努力目標をクラスに掲示し、振り返りシートで反省、改善に努める。	A ② C D	折に触れ、自分たちの言動について、振り返るものとしていきたい。(客野教頭)	
	生徒自己点検	各学期末、年度末に自己点検・自己評価を実施する。	A B C ④	生徒指導の計画により、今年度も実施せず。(客野教頭)	
	学習指導計画	年度末に自己点検・自己評価を実施する。	A B C ④	今年度の学習指導報告者は校長の判断を仰ぎ、実施しないこととした。(坂田教頭)	
	授業評価	Classiによるアンケート調査を実施する。	A ② C D	昨年度末からGoogleフォームでのアンケート実施に変えている。Classiでの実施に比べると教員・生徒ともに負担を軽減できている。(和田)	

<集計>

評価項目 (50)	A / 4	B / 21	C / 11	D / 14
--------------	-------	--------	--------	--------

令和5年度 松江西高等学校分掌部年間目標と計画

1. 教育理念

(1) 本校の使命(ミッション)

建学の精神である「真に社会に役立つ実践的人材の育成」を使命とする。基礎・基本を身につけ、人格の形成に主眼を置いた教育実践を通して、地域に根差し、地域の期待に応える学校づくりを推進する。

(2) 使命の追求を通して実現しようとする本校の生徒像(ビジョン)

本校の育てたい生徒像である「基礎・基本を身につけ、将来像を持った明るく活力ある生徒」具現化のための重要ポイント

1. 基礎力養成補習、学び直し、語彙力養成を通して基礎学力を養成させる
2. 平素の学校生活を通して正しい服装と礼儀・挨拶を習得させる
3. CCP教育、インターンシップを通して将来像を持たせる
4. 部活動、学校行事を通して明るさと活力を身につけさせる

2. 分掌部年間目標・計画・評価

評価 1 よくできなかった / 2 まずまずだった / 3 大変よくできた

分掌	担当	年間重点目標	目標達成のための計画	評価 (1学期)	評価 (2学期)	評価 (3学期)	評価 (学年)	
総務部	入試課	①受験者数・入学者数の確保	①体験入学参加者 200名の確保(昨年166名、内授業115名、部活51名) ②中学生・保護者対象入試説明会参加者 450名の確保(昨年343名) ③受験者数 700名の確保(昨年628名) ④入学者 150名の確保(昨年130名)	・松江西高タイムス・学校案内発行 ・学校紹介ビデオ・パワーポイント作成 ・中学校における進路説明の会実施 ・体験入学の実施 ・中学校教員対象入試説明会の実施 ・中学生・保護者対象入試説明会の実施	/	/	/	1
		総務課	②円滑な学校運営	・年間行事計画作成・調整 ・職員会議企画・運営、会議録の作成・資料保管 ・学校要覧、職員名簿・緊急連絡網・身分証明書等の作成 ・100周年資料の収集・整理・保管	2			2
				・入学式、卒業式、始・終業式等の企画・実施	2			2
				・入学試験の企画・実施、入試関係事務処理 ・専願合格者入学前指導、新入生一日入学企画・実施	2			2
	厚生課	・学校生協関係の連絡・事務 ・慶弔に関する庶務	2			2		
	施設課	③施設・設備の管理・保全	・校舎・施設、机・椅子等の破損調査・整備 ・校舎内外の環境整備・美化	2			2	
	総務課 施設課	④防災体制の確立	・防災組織の整備、研修・訓練の実施と検証 ・防災教育の企画・実施 ・緊急時一斉メール配信システムの整備・管理 ・防災設備の点検・整備	2			1	
総務課	⑤学校広報の推進	・西高だより(年2回)・「がんばれ西高！」(随時)発行 ・学校ホームページ更新	2			2		
教務部	教務課	①授業の管理、授業時数の確保	・特定の教員に負担が掛かり過ぎないように授業変更基本ルールの共有	3			2	
			・時間短縮等で学校行事等とのバランスをとる。	3			2	
		②ポートフォリオの確実な蓄積(提出率90%)	・各学期末のみ用紙で実施し、保管する。	2			2	
	③新課程への対応(観点別評価システム作成・分析)	・観点別評価システムへの意見を年度末に集約する。	2			2		
	学習指導課	④基礎学力の向上(3年生でD3層30名以下)	・目標設定・事前学習(補習)・振り返りのサイクルができるように働きかける	2			2	
		⑤Literasの検定合格者の増加(1級3名以上、2級30名以上、3級受験者の80%以上)	・事前課題の活用計画を明確にする。	/	/	/		
	研修課	⑥教員のスキルアップ	・公開授業などの相談や意見交換の機会を設定	3			2	
		⑦学校全体での研修会の実施	・目的を明確にした研修会の計画	2			2	
	授業改善課	⑧各学期の授業アンケートの実施(提出率90%以上)	・Classiによる授業アンケートの配信をする。	3			2	
		⑨総合探求の有効活用	・各学年で具体的なカリキュラム計画を作成する。 ・定期的な学年部会などで計画の意図を共有する。	3			3	
図書課	⑩読書週間の有効活用	・教室用図書の準備、LHRで読み聞かせ等を実施	3			1		

分 掌 担 当	年間重点目標	目標達成のための計画	評価 (1学期)	評価 (2学期)	評価 (3学期)	評価 (学年)	
生徒指導部	生徒指導課	①あいさつの充実	・定期的に部活動（生徒会）単位で挨拶運動を実施する。	1			1
		②正しく制服を着る	・服装頭髪検査の実施（月1回を基本） <b>新制服の決定</b> ・ネクタイ・リボンの貸し出しを生徒指導で統一する。	2			2
		③時間を守る	・「 <b>ノーチャイム運動</b> 」＋遅刻指導 遅刻率→ <b>3%</b> 以下	1			1
		④掃除の励行	・保健部や生徒会と連携する。	1			1
		⑤校則（各種規定・ルール）の見直し	・校内での議論を推進（特に <b>携帯に関する規定</b> など）	1			1
		⑥生徒指導体制の見直しと連携強化	・「 <b>脱・モグラたたき!</b> 」で懲戒件数を <b>10件未満に減少</b>	1			1
		⑦学校（教職員）の防犯意識を高める	・不審者（危険人物）への対応・教職員の訓練を計画する。	1			1
	交通指導課	⑧法令順守の精神を養う	・警察や地域との情報共有を密にする。 啓発活動の活性化	2			1
		⑨交通事故を防ぎ、生徒の命を守る	・ヘルメット着用の意義を広める。 <b>交通事故をゼロへ!</b>	1			1
		⑩自転車のマナーアップと盗難防止	・自転車の降車エリア（校内）の設定→ <b>看板の設置へ</b> ・施錠指導とステッカーの貼付指導 <b>警察の交通安全講習</b>	2			1
	生徒会課	⑪学園祭の充実	・企画・運営・準備段階で生徒指導部が関わる。				
		⑫「生徒が当事者意識をもって学校の未来を考える。」	・学校生活をより良くするために生徒同士が指摘し合う行為を増やしていく。「 <b>校内放送</b> 」「 <b>新しい委員会</b> 」など	1			1
	人権同和課	⑬人権尊重と差別のない学校作り	・講演会「命の大切さ」の実施 ・いじめアンケートの実施（活用）	2			1
		⑭生徒相互の人間関係の構築	・アンケートQUの実施 各学年部・担任と連携を強化する。	2			1
進路指導部	職業指導課	①生徒の進路保障 ・学校幹旋による地元就職への内定率の向上を目指す。 （就職ミスマッチの減少） （学校幹旋内定率 100%） ・公務員希望者への対応 ・縁故就職者への支援 （ビジネスマナーの定着）	・面談を重ねることにより、それぞれの適性に応じた指導を目指す。 ・基本的な生活習慣や学力を身につける ・遅刻・欠席の多い生徒や意欲のない生徒への対応 ・ハローワークや関係諸機関との連携を強化 ・早期離職を防ぐためにジョブフェアや応募前見学等を活用する。 ・夏季補習や採用試験に対応できる対策をとる。（作文・SPI検査など）				2
		②社会人としての素養を高める ・キャリア教育の実施。 ・社会人基礎力を育てる。 「遅刻・欠席をしない」 「挨拶をする」 「コミュニケーション力」	・校内での挨拶・言葉の使い方・服装頭髪 ・外部講師による講話やマナー指導実施 ・面接指導を通して、社会人としてのマナーを身につけさせる。また、自分の意見を相手にきちんと伝えられるようにする。	2			2
		③応募前見学、企業ガイダンスの実施 ・県、市、ハローワークと連携	・求人票だけでなく、ガイダンス・職場体験を通して、実際の仕事や職場の状況を知り、職場選択の取り組みを促す。 ・就職先の新規開拓をする。				3
		④インターンシップの実施 ・2年生の10月～11月実施	・インターンシップの実施により、上記にある社会人としての素養を高め、「卒業後は社会人になる」という意識を学年全体・学校全体で持つようにする。				1
	進学指導課	⑤進路選択の幅を広げる	定期的な進路ガイダンス、適性検査の活用	3			3
		⑥計画的な進路決定をさせる	保護者向け費用説明会、早期からの個人・三者面談の実施	3			3
		⑦学科を問わず、四年生大学・短期大学への進学者を一定数出す（進学者の20～30%）	・進学希望者対象補習を一般選抜も視野に入れて早期より計画的に行う。 ・総合型・学校推薦選抜に向けた小論文対策として6月に添削模試を行う。				2
		⑧国立大学・私立難関大学への合格者を一定数出す（四年生大学進学者の10%）	・大学、短大、専門学校との連携の強化・拡大を図る。 ・模試を有効に活用（特に、復習と学習方法の検討）する。				2
		⑨スタディサブリの有効活用 ・特別進学コースにおいて、家庭学習を定着させて受験の基盤となる学力を身につけさせる。 （週末課題提出率 100%）	・週末課題→週明けチェックテスト→復習の流れで家庭学習のきっかけを作る。 ・到達度テストの結果から個別の学習計画を各自で作成する。	2			2

分掌	担当	年間重点目標	目標達成のための計画	評価 (1学期)	評価 (2学期)	評価 (3学期)	評価 (学年)
保健部	保健課	①環境美化の推進	・ゴミ処理の円滑化 ・清掃活動	2			2
		②健康管理の徹底	・生活改善(食事・睡眠・スマホ)に向けた指導 ・健康観察、調査票などからの情報収集により、心身の問題の早期発見、早期対応を図る。	3			3
		③各諸問題に関わる研修	・時代に対応した各種研修会(情報提供)を実施	3			2
		④保健部に関する各種統計	・保健室利用者及び疾病の種類把握 ・利用者数の把握、各検査健診結果統計	3			3
学年部	1年部	①基礎学力の定着・向上	生徒から目を背けずに関わり続ける学年に	2			2
		②基本的生活習慣の確立	①生徒情報の共有 ②先(進路)を見据えた指導 ③ぶれない指導	2			2
		③他者尊重の心を養う		2			2
		④出席率95%以上に(具体的数値目標)	・担任と教科担当とのコミュニケーションを大切にする ・担任の個性を生かしたクラスづくりをするとともに、いじめや無視など、日々の生徒の変化に迅速に対応する	3			3
		⑤転退学者を5%以下に(具体的数値目標)	・保護者への電話連絡や家庭訪問を必要に応じて行う ・各委員会の長との連絡を密にし、生徒の情報を共有する	3			2
		⑥遅刻率を5%以下に(具体的数値目標)	・始業のチャイムと共に行動させる ・HRを通じて、基本的生活習慣を身につけることの大切さ、その行動が進路決定に影響するということを理解させる	2			2
		⑦部活動入部率を70%に(具体的数値目標)	・部活動や全ての学校行事等にポジティブに挑むとともに、協調性を身につけ、その大切さを学ばせる	2			2
	2年部	①基本的生活習慣の確立 ・遅刻率3%以下(昨年度2.3%) ・出席率95%以上(昨年度94.1%)	・遅刻指導と家庭連絡を徹底する ・教員からの明るい挨拶の意識を持つ	2			2
		②基礎学力の向上と学習習慣の涵養 ・基礎力診断テストD3層25%以下(昨年度1月35.1%) ・到達度テスト正答率55%以上(昨年度1月52.3%)	・普段の授業で主体的に学習に取り組む態度(特に集中力)を身に付けさせる ・事前課題提出と補習への出席を徹底する ・目標→計画→テスト→改善のサイクルを確立させる	3			2
		③多様な他者との集団活動の意義やコミュニケーションについての理解 ・研修旅行好意的評価90%以上 ・QU学級生活不満足群15%以下(昨年度7月17.1%)	・まずは研修旅行までのクラス活動や学校行事で自分の役割を考えさせる(面談等) ・HRでルール(法律、条令、校則等)を守る価値を考える ・定期的(各学期1回以上)な面談を実施する ・担任以外がそのクラスを褒める機会を作る	2			2
		④進路のビジョン化 ・探究活動と小論文学習の充実 ・進路調査未定者3名以下	・Chromebookを活用する ・進路ガイダンスの振り返りを徹底する ・2学期中(研修旅行後)に1回進路調査を行う	2			2
		①基本的生活習慣の確立 ・遅刻・欠席をしない ・礼儀を身につける(挨拶・言葉遣い・返事) ・時間を守る		2			2
	3年部	②基礎学力の向上・定着	・授業を受ける体制を整える ・テストに全力を尽くす	2			2
		③未見の私の発見	・部活動・学校行事への積極的な参加 ・相手を尊重した行動や言動をとり、対人関係を円滑に築く	3			3
		④進路のビジョン化	・進路選択能力の育成 ・各種検定等の資格を取得する	3			3
		⑤132名全員の卒業を達成(具体的数値目標)		1			1
		⑥出席率を97%以上に(昨年度94%)		2			2
		⑦遅刻率を2%以下(昨年度3.3%)		2			2
		⑧転退学者を0名に(昨年度8名)	・基本的生活習慣を身につけることの大切さを理解させる。 ・始業のチャイムとともに行動させる。 ・保護者への電話連絡や家庭訪問を適時行う。	1			1
		⑨皆勤者を30名以上に(昨年度21名)	・部活動や学校行事を通じて協調性を身につけ、達成感や自己肯定感を味あわせる。	3			1
⑩学期間奨学生の推薦者を10名以上に		・普段の授業を大切にさせ、授業に集中させる。 ・各種検定試験の3級以上の合格を目指し、学習意欲を高め、進路実現に結びつける。	2			1	
⑪漢字テスト 平均点70点以上		・履歴書指導・面接指導の充実を図る。	2			2	
⑫各種検定試験 3級以上合格			2			2	
⑬国公立大学(短大)進学者を3名以上に						1	
⑭学校斡旋による就職合格を100%に(3年以上の定着を目指して指導する)						2	

# 令和5年度 松江西高校 努力目標

## 建学の精神

真に社会に役立つ実践的人財の育成

## 教育テーマ

未見の我の発見

## 育てたい生徒像

基礎基本を身につけ、将来像をもった明るく活力のある生徒

### 第1学年努力目標

- ① 基礎学力の定着・向上。
- ② 基本的な生活習慣の確立。
- ③ 他者尊重の心を養う。

### クラス努力目標

1年1組（遠藤） 努力を忘れて努力する

1年2組（浅津） 「継続(けいぞく)」

1年3組（松浦） 高校3年間の基盤作りとなる1年にする

- ①（生活）「実現可能な目標の設定」→「達成」を繰り返す
- ②（学習）自分にあった学習方法の確立
- ③（総合）和（絆）を意識する

1年4組（小川） 習慣  
自分でできる事を増やし習慣化する

### 第2学年努力目標

- ① 基本的な生活習慣の確立
- ② 基礎学力の向上と学習習慣の涵養
- ③ 多様な他者との集団活動の意義や  
コミュニケーションについての理解
- ④ 進路のビジョン化

## クラス努力目標

- 2年1組（田部） 元気
- 2年2組（小澤） 変 革
- 2年3組（池上） 感
- 2年4組（原田） ①やれることはちゃんとやる  
②携帯電話の利用を控える  
③毎日あと少し頑張る  
④教室をきれいに

## 第3学年努力目標

### ①基本的な生活習慣の確立

- (1) 遅刻・欠席をしない
- (2) 礼儀を身につける
- (3) 時間を守る

### ②基礎学力の向上・定着

- (1) 授業を受ける体制を整える
- (2) テストに全力を尽くす

### ③未見の私の発見

- (1) 部活動・学校行事への積極的な参加
- (2) 相手を尊重した行動や言動をとり、対人関係を円滑に築く

### ④進路のビジョン化

- (1) 進路選択能力の育成
- (2) 探求学習・小論文学習の充実
- (3) 各種検定等の資格を取得する

## クラス努力目標

- 3年1組（加納） 子供から 大人へ
- 3年2組（小豆澤） クラス37人それぞれが  
納得できる進路を実現する
- 3年3組（吉原） できっこないを やらなくちゃ
- 3年5組（広瀬） Border less  
～境界を無くそう～  
～限界を超えよう～

担任振り返りシート ( )年( )組 担任( )

クラス目標

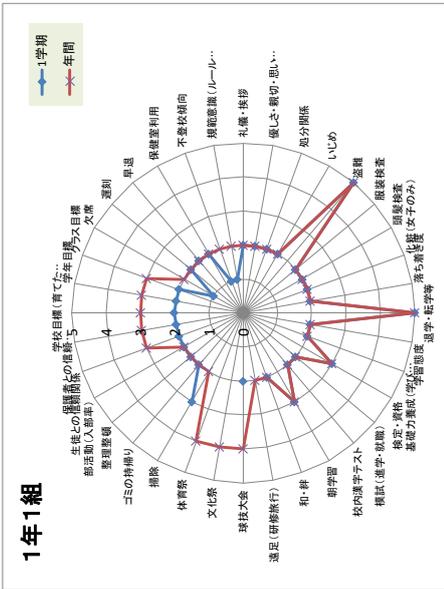
	点検項目	1学期	2学期	3学期	年間
目標	学校目標				
	学年目標				
	クラス目標				
出欠	欠席				
	遅刻				
	早退				
	保健室利用				
	不登校傾向				
モラル	規範意識（ルール厳守等）				
	礼儀・挨拶				
	優しさ・親切・思いやり				
問題行動	処分関係				
	いじめ				
	盗難				
	服装検査				
	頭髪検査				
	化粧（女子のみ）				
	落ち着き度				
退学・転学等					
学習	学習態度				
	基礎力養成（学び直し）				
	検定・資格				
	模試（進学・就職）				
	校内漢字テスト				
朝読書					
帰属意識	和・絆				
	遠足（研修旅行）				
	球技大会				
	文化祭				
体育祭					
環境	掃除				
	ゴミの持帰り				
	整理整頓				
その他	部活動（入部率）				
	生徒との信頼関係				
	保護者との信頼関係				

記入は5段階（5／優 4／良 3／普通 2／やや悪 1／悪）でお願いします。

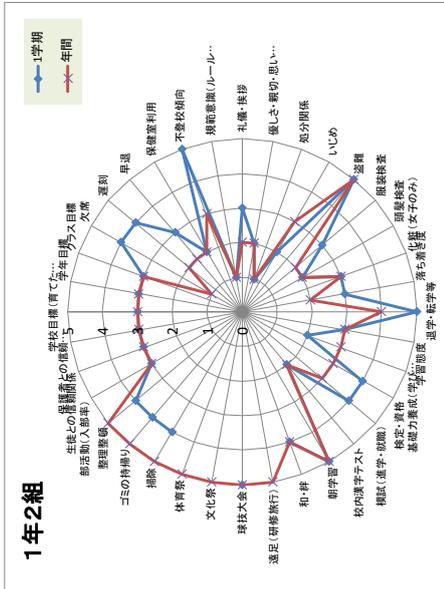
	記 述 欄
1 学期	良かった点
	悪かった点
	その他（気づきがあれば書いてください）
2 学期	良かった点
	悪かった点
	その他（気づきがあれば書いてください）
3 学期	良かった点
	悪かった点
	その他（気づきがあれば書いてください）
年 間	良かった点
	悪かった点
	その他（気づきがあれば書いてください）

# 令和5年度 担任振り返りシート集計表(1年生)

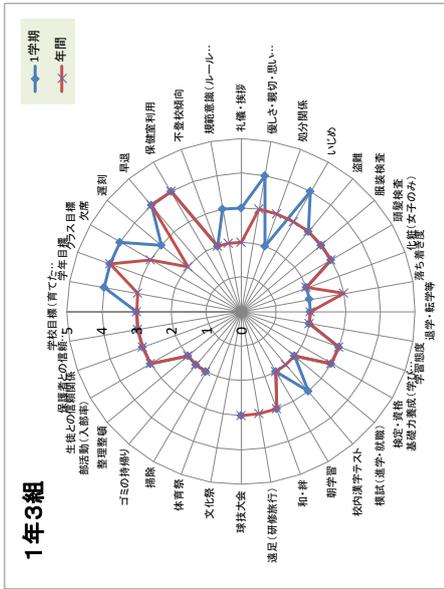
クラス目標	努力を忘れて努力する
-------	------------



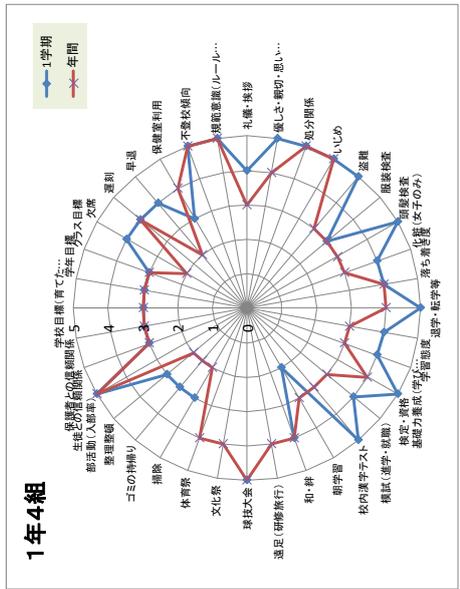
クラス目標	「継続(けいぞく)」
-------	------------



クラス目標	<p>高校3年間の基礎作りとなる1年にする</p> <p>①(生活)「整理可能な目標の設定」→「達成」を繰り返す</p> <p>②(学習) 自分にあった学習方法の確立</p> <p>③(総合) 和(絆)を意識する</p>
-------	--

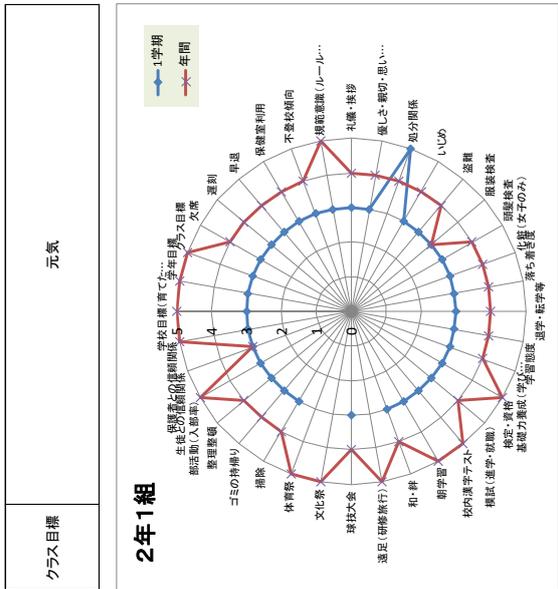
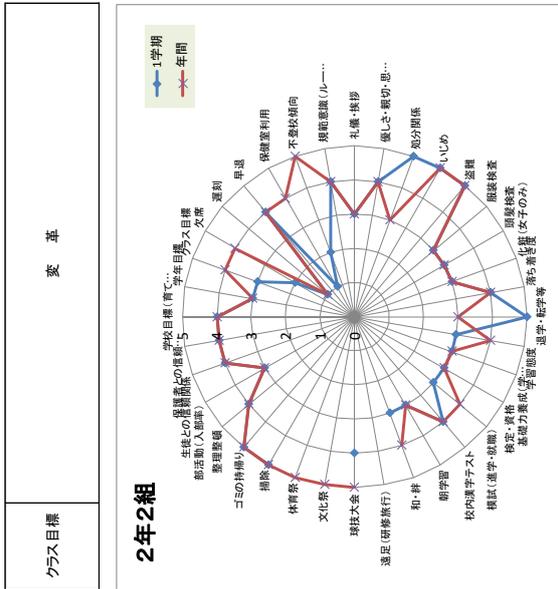
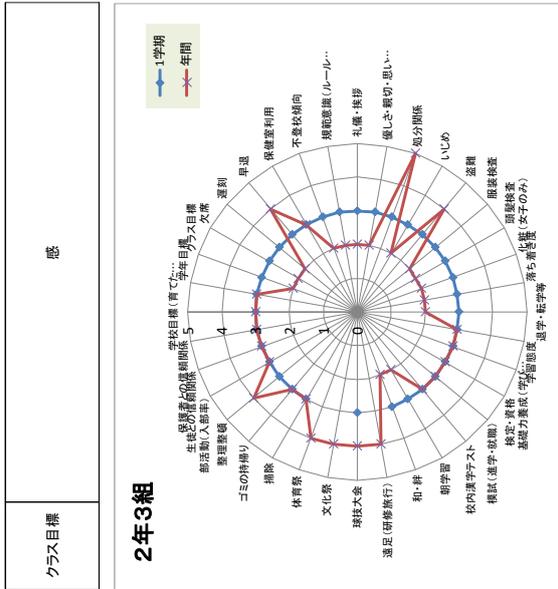


クラス目標	習慣 自分でできる事を増やし習慣化する
-------	------------------------

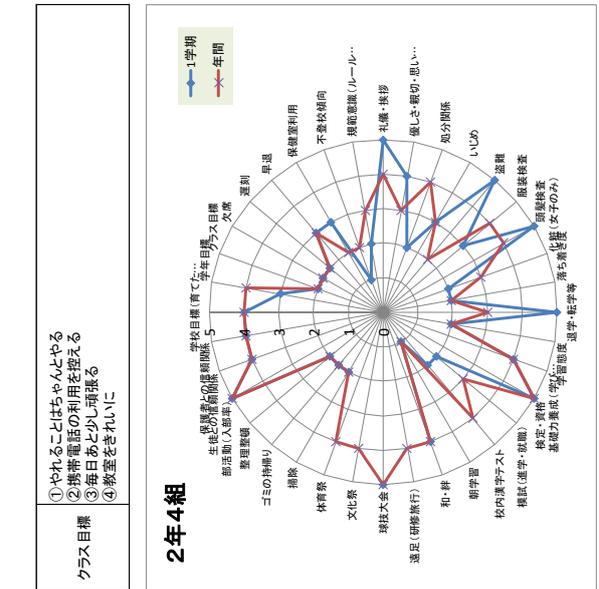


各クラス反省	1組	2組	3組	4組
(1学期) 特になし (2学期) 意識高く、検定取得に主体的に取り組み、取り組むことができた。 三年間担任をこなすことができず、生徒に申し訳ない。	(1学期) 欠席が少なく、学校に来ている。 朝学習で50マス計算に取り組めた。 スハールリングが生徒間で流行している。 3組と成績に差があったこと。(悪かった点)	(1学期) 途中から引き継いだ割にはずんばずんとなり移行できた。 整理整頓も含め、後半やや雑然としてしまった(学習意欲が)。 (2学期) 全体を通して大過なく過ごせた。学習面で頑張る生徒の割合が多かった。 転・退学者が多かった。人間関係のトラブルも多く、対応が難しい問題もあった。	(1学期) クラス全体の雰囲気良く、生徒間の助け合いの姿や協力する姿が見られた。授業がないので授業の様子に分かりにくく、教科担当の先生に様子を確認して進んでいくようになった。 (2学期) 年間を通してクラスの雰囲気は良く、生徒間で協力する姿が目立った。目標に向かって進んでいく力がそれぞれ持っているため、自分の得意分野でクラスに貢献していた。 クラスの仲が良い分、緊張感が必要なくなり、だらだらしてしまう面があった。2年生に向けて、自分たちの進路に向けて気を引き締めて過ごせるよう話し合いが必要だと思っ。 担任教科が授業になかったため、生徒の様子を一部分しか見る事ができなかった。そのため十分なサポートができなかった。 はと思う、もう少し進んでいくことだったのかなと反省している。	

# 令和5年度 担任振り返りシート集計表(2年生)

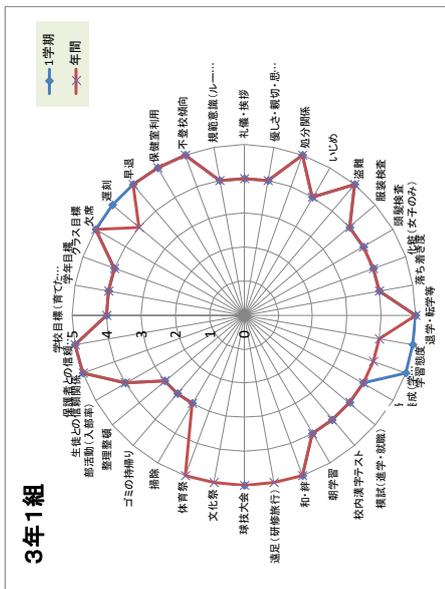


各クラス反省	1組	2組	3組	4組
(1学期) 学習に向かう姿勢を維持できている。授業の進路について具体性に欠けている。コミュニケーションが取れるようになってきた。	(1学期) 担任が怒るから」という意識から、「なんてしないといけないのか」を考えて行動できるようになった生徒が多かったように思う。一部の生徒は怒られないからと言って気が緩んでしまった。	(1学期) それぞれできるところできるところをやった。気持ちが悪くない人もいて、むしろではあった。	(1学期) 協力する姿勢が良く見られた。また、互いに点数を競い合ったり、勉強を教え合ったりしていた。	(1学期) 学年になってからのことを考えて行動できるようになった。競争意識が高くなり、3年生になつたことを受けて行動できるようになってきた。意欲ある生徒と無気な生徒で大きな差が生じていた。人からかうような雰囲気も流れている。また、グループが分かれており、多少険悪な雰囲気がある。
(年間) 朝の時間を大事にできた。終礼が遅くなった。3年生に向けて、進路の関する情報をもっと提供したかった。	(年間) 「教育改革」を目指し、授業態度、生活態度が向上した生徒が多数おり、大きく成長した1年だったように思う。	(年間) 検定取崩し頑張った生徒が多かった。規範意識が低い生徒がいて、落ち着きがない状況が多くあった。	(年間) 検定取崩し頑張った生徒が多かった。規範意識が低い生徒がいて、落ち着きがない状況が多くあった。	(年間) 検定取崩し頑張った生徒が多かった。規範意識が低い生徒がいて、落ち着きがない状況が多くあった。
(1学期) 父康・遅刻が改善されない生徒がいた。もう少し担任のアプローチが上手くなるといいと感じた。	(1学期) 父康・遅刻が改善されない生徒がいた。もう少し担任のアプローチが上手くなるといいと感じた。	(1学期) 父康・遅刻が改善されない生徒がいた。もう少し担任のアプローチが上手くなるといいと感じた。	(1学期) 父康・遅刻が改善されない生徒がいた。もう少し担任のアプローチが上手くなるといいと感じた。	(1学期) 父康・遅刻が改善されない生徒がいた。もう少し担任のアプローチが上手くなるといいと感じた。

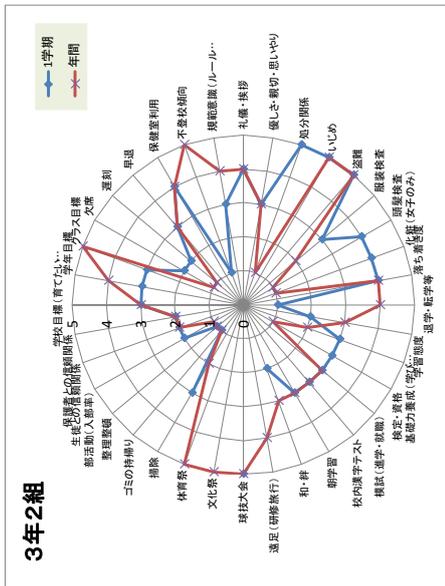


# 令和5年度 担任振り返りシート集計表(3年生)

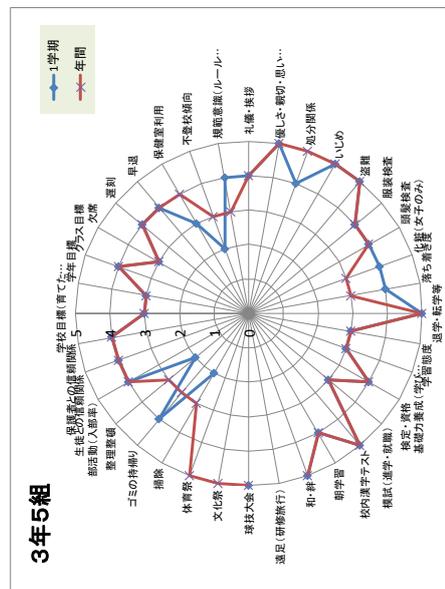
クラス目標	子供から大人へ
-------	---------



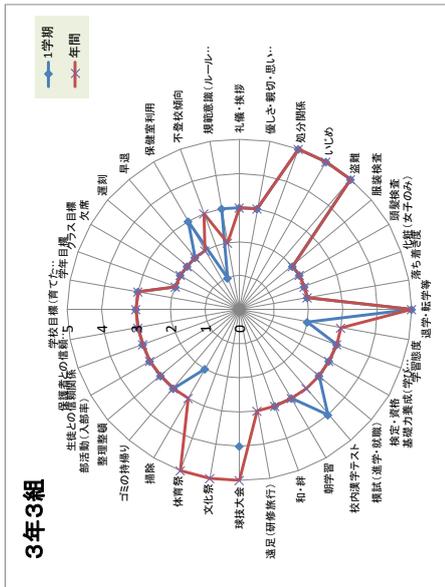
クラス目標	クラス37人それぞれが納得できる進路を実現する
-------	-------------------------



クラス目標	Borderless ～境界を無くそう～ ～限界を超えよう～
-------	--------------------------------------



クラス目標	できっこないをやらなくちゃ
-------	---------------



## 各クラス反省

1組	(1学期) 進路へ向け学習へ向かう姿勢が良くなり、クラス平均も上がった。一部の生徒が片付けができて、教室が汚れるところがあった。 (年間) 1年間(3年間)色々なことがたくさんありました。最後の最後まで型にはまらないうつラスでした。学習態度に課題ごとクラス全体で協力し頑張ってくれたと思います。 自由登校も早く、また進路決定後にゆりかごが早く見られた生徒がおり残念であった。今回の反省を次に生かしていきます。 3年間担任をさせていただき、ありがとうございました。
2組	(1学期) 如分者は出なかった。 退学者が出た。 (年間) 全員卒業できた。 ぎりぎりまで教室がゴミなどで汚かった。片付かなかった。 みんな大人しいクラスでした。
3組	(1学期) 如分等なく過ごせた。 進路希望が固まりきれなかった。 (年間) 多くの生徒が解れることなく過ごせた。 最後まで頭蓋を正せなかった。
5組	(1学期) 学校行事(漢字テスト・球技大会)でクラスが団結した。 (年間) 各種検定・模試の成績が良くなった。 漢字テスト平均100点達成。卒業式で全員泣いた。 一般入試受験者の結果が出なかった。(悪かった点)